

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学附属病院集中治療部

研究責任者： 野口 智子

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）患者の短期・長期予後に関する因子の検討

研究の目的

当施設では TAVI はほぼ全例で全身麻酔下での管理をしており、安定した呼吸・循環管理を提供することが可能です。しかし高齢の場合、麻酔からの覚めが悪いことや認知機能の障害にも考慮する必要があります。麻酔管理や術後管理が与える影響を検討することでより安全な手術期管理を提供することが可能であるため、麻酔方法や麻酔薬の種類と合併症、入院日数などの関係を検討します。

研究実施期間 2022 年 10 月 7 日 ～ 2028 年 3 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方 2019 年 11 月から 2022 年 9 月まで、附属病院循環器内科を受診し、大動脈弁狭窄症と診断され、TAVI 手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、手術時間や麻酔時間、脊椎麻酔レベル、呼吸数や経皮的酸素飽和度、採血結果について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、脊椎麻酔施行後の呼吸数の変化や経皮的酸素飽和度の推移を検索しモルヒネ投与後どの程度影響が残存しているか検討します。また、血液ガス分析の結果と呼吸苦等の主観的な訴えと併せて呼吸状態を評価します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

外部への試料・情報の提供

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん/その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

医学部附属病院集中治療部・野口智子

[0172-39-5113/nogusato1110@hirosaki-u.ac.jp](mailto:nogusato1110@hirosaki-u.ac.jp)